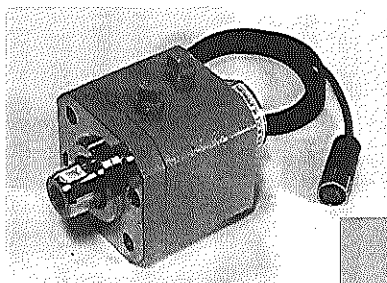
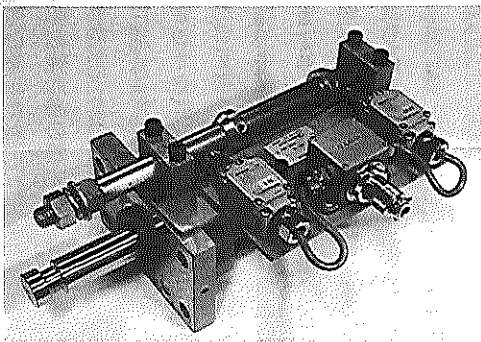


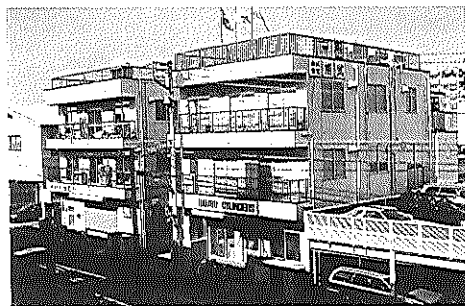
株式会社 南武



ダイカスト・プラスチック金型向け中子抜き油圧シリンダの中の1つ「EXS 型標準ヒンリ内蔵タイプ」。



ダイカスト・プラスチック金型向け中子抜き油圧シリンダの中の1つ「中子型FAタイプ」。



東京都大田区にある本社。

株式会社 南武
 代表者：代表取締役 野村和史
 設立：1965年12月
 資本金：58,000,000円
 本社所在地：〒144-0047
 東京都大田区萩中3-14-18
 URL：http://www.nambu-cyl.co.jp/
 業種：機器製造業

「らないと考えていますので一切しません」
 現在の主要な取引先は、中子抜き油圧シリンダの場合、大手自動車メーカーなど。ロータリシヨイント・ロータリシリンダは大手製鉄メーカーなど。つまり、同社の技術がないと、日本が誇る製造業界では、何らかの支障を来すことが目に見えているのだ。



高い技術力と人への思いで成長する 堅実で偉大な町工場

株式会社 南武

■多品種少量の受注生産に特化

「もの作りのまち」として日本の製造業を支えている東京都大田区。約4000の町工場が建ち並ぶエリアの一角に、特殊油圧シリンダなどの設計・製作・販売を手掛ける株式会社南武がある。

同社の主力商品の一つである「特殊油圧シリンダ」とは何かを知る手掛かりとして、ピストンが斜めに動く自動車用の「V型エンジン」をイメージしてほしい。

その「V型エンジン」の基になる部分(ブロック)はたいいていの場合、溶かした生地を焼き型に流し込んで作る。銅焼きと同様、「金型」の中に溶かした金属を流し込む。ダイカスト(鋳物)という加工法で作られる。

「金型は、上下左右に開くことができます。そして、その動きに合わせて簡単に穴はあけられるのですが、

斜めの穴を抜く場合は、当社のシリンダが必要とされます」

と語る常務取締役の中田清嗣氏。同社の特殊油圧シリンダがあれば、ピストンが動いたための斜めの穴があるV型エンジンブロックを効率よく作ることができる。

同社は、日本における特殊油圧シリンダ、正確には「金型用中子抜き油圧シリンダ」のシェアの6割、さらに、製鉄工場で使われる「銅板巻取り用ロータリシヨイント・ロータリシリンダ」という特殊な商品ではアジア、USAでのシェアの7割を占める業界トップクラスの企業だ。

「独自に培った技術力で、多品種少量の受注生産に特化しています。大量生産や他社の模倣は、最終的には価格競争という消耗戦になり、長期的な利益につながら

株式会社 南武



3次元 CAD の活用により、これまで以上の能力アップに努めている設計部。

もともと本社の設計部門に所属し、日本国籍に帰化した元中国人。中国工場設立は彼の働きなくしては進出が難しかった。また、同工場の副総経理も社長の息子(三男)であり、上海大学卒の33歳の若い人です」ビジネス上の安全・安定性やリスクの軽減などを最優先にしながら展開する企業が多い中、同社は、やる気のある若い社員を信頼し、思い切った権限を移譲して任せる方針を実践している。

「タイに進出する日本企業は多いのですが、日本から行く責任者が短期間で代わるからか、現地スタッフと信頼関係を構築できるケースが少ない。従って、

極的に行える原動力は「若い力」にあるという。

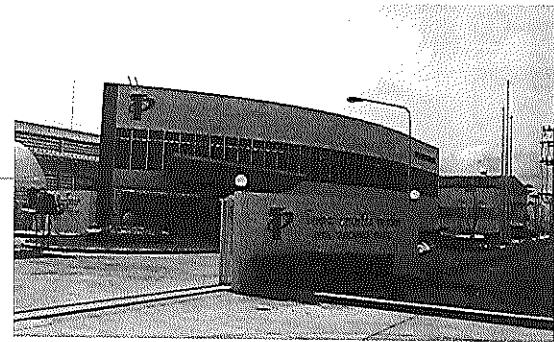
「たとえば、タイの工場は本社から異動した2名の社員が取り仕切っています。1人は32歳で現地責任者に就任し、現在3年目。若いながらも約50人のタイ人をまとめマネジメントし、きっちり成果を上げています。中国工場の責任者も40代半ばで、

中国など海外進出に意欲的
同社は、海外進出にも意欲的で、最初に進出したのはタイだった。

「2002年に20人の工場からスタートしました。2006年には、工業団地のオーナーの意向もあり『オオタテクノパーク』に移転。現在、従業員約50名で稼働しています。当初は規格部品を製造し、日本で組み立てていましたが、近年はアセアン、インドへの完成品の販売が好調です。特にインドとインドネシアは、自動車と二輪が急速に伸びているため、タイの拠点は今後ますます重要な役割を果たしていくと思われまます」

タイにおける成功は、中堅・中小企業の海外進出の参考例として、マスコミからの取材が相次いでいる。また政界、自治体の要人が現地の工場を訪問するなど、同業以外からの注目度も高い。

さらに2011年7月には、同社初の中国工場「南武油缸(常州市)有限公司」が稼働した。



NAMBU CYL (THAILAND) CO., LTD. があるタイのオオタテクノパーク。



中国に開設した工場「南武油缸(常州市)有限公司」。

「工場のある江蘇省常州市は、上海から200キロ弱、高速鉄道で約1時間とアクセスが良い。初の中国進出なので、全社的に力を入れています」

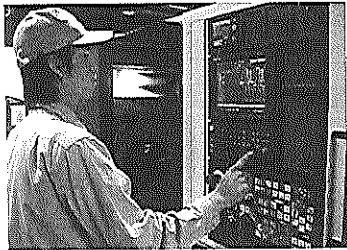
■人を大切にし、高い定着率を誇る

活気を維持しながら、技術開発や海外進出などを積

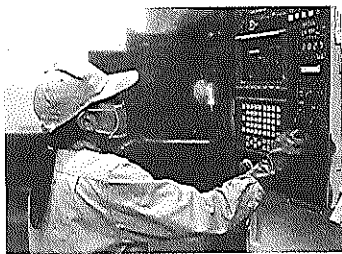
現地スタッフは、ある程度技能を身につけると、給料のいいところに転職する。シフトホッピングを繰り返します。でも当社の現地スタッフは、辞める人が少ない。それは、若い責任者が、タイの人々の中に自ら飛び込み、長い時間をかけて信頼関係を築いたからです。今では、本社の社長が出向いても、現地スタッフは彼のほうを敬う雰囲気があるくらいです(笑)」

また、同社は、これまで男ばかりだった「技能者」の世界に、近隣の普通高校の女性たちを抜擢するなど、斬新な採用で業界関係者を驚かせた。

「高校の運動部出身の女性社員を、NC技能者として



「人を大切に」する同社では、非常に高い定着率を誇っている。



女性技術者が活躍することで、明るく活気のある職場環境を築いた同社。業界内外問わず注目を集めている。

株式会社 南武

「最近若手社員が、タイや中国の工場に出張する機会が増えています。もちろん業務上、必要に



教育の一環として、グローバル時代を見据え、週1回、外国人教師を招いて英会話教室を実施している。



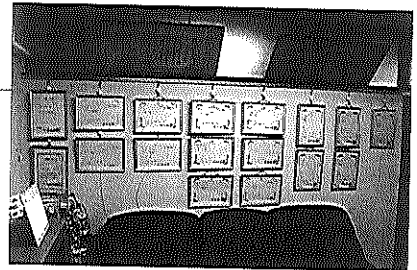
経営陣と社員を交えた月例集まり会を実施することで、情報の共有化、意思の疎通などを図り、働きやすい職場環境作りを実現している。

■設備投資に加え、人にも投資する
 人を大切にしている思いは、教育制度にも表れている。「担当業務を無難にこなすだけでなく、経験を重ねることにスキルアップしていくことが働く喜びとなり、会社の発展にもつながる。そこで当社は、設備投資だけでなく、人いかに投資するかが重要だと考えています」

「確かにそのような面はありますが、総合的に考えると、数字としては表わしにくい大きなプラスがあります。職場に活気が出て雰囲気も良くなったことに加え、定着率が上がり、今では辞める人はほとんどいません。」

「確かにそのような面はありますが、総合的に考えると、数字としては表わしにくい大きなプラスがあります。職場に活気が出て雰囲気も良くなったことに加え、定着率が上がり、今では辞める人はほとんどいません。」

「それまで以上に職場に活気が出てきました。やはり女性の視線がある」と、男性は頑張りますからね(笑)」「
 同社は、社内恋愛に寛大だ。それにより社内結婚も増えた。しかし、育った女性の技能者が、結婚退職するケースもある。会社としては有能な社員を失うことにもなりかねない。」



独自に培った技術力で、多品種少量の受注生産に特化する同社は、多くの特許、実用新案を取得している。

育成したのです。これまでは育成できないだろうと思われていた人材を戦力化することに成功したと同時に、ほかにも大きな波及効果がありました」
 職場の空気が一変した。男女が同じところで働くようになることで、社員が率先して職場を清潔にし、整理整頓が行き届くようになった。

それに社内結婚して女性が退職しても、夫が妻の分まで頑張るようになるというメリットもあります」
 社内結婚で退職した女性が、ときどき子どもを連れて会社を訪れることがある。それだけ、かつての職場や仲間と愛着があるということであり、そんな会社で夫が働いていることは、妻にとって何より安心して生活できることだろう。

また、2007年女性のNC技能者をNHKが「ドリルガールズ」というドキュメンタリーで取り上げたことにより、会社の知名度がさらにアップしたという。「リーマン・ショックのときは売上が40%も下がるなど本当に厳しい状況でしたが、社員の頑張りで何とか危機を脱することができました。このとき、辞める人はいませんでしたし、会社も辞めさせようとは思いませんでした。やはり、会社運営の原点は人材、人を大切にすることではないでしょうか」
 性別、年齢、キャリア、国籍などにこだわらず、人として公平に接し、大切にしてチャンスを与える。そんな社風が、高い定着率につながっている。